

定期検診の重要性について ～歯をできるだけ残す～

医療法人 育笑会
やまだ歯科医院

歯の二大疾患は虫歯と歯周病

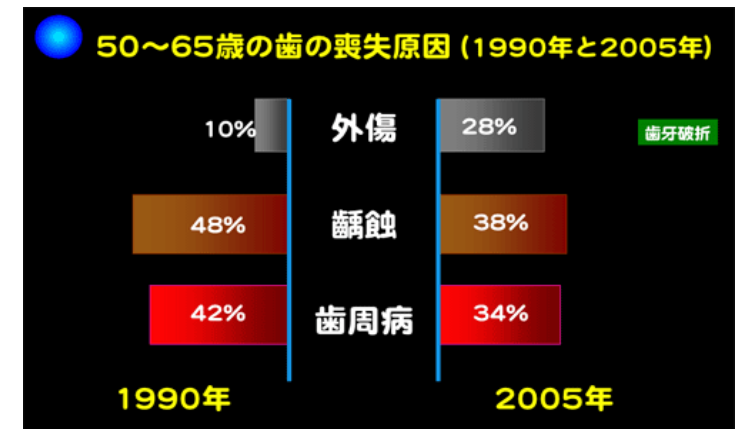
歯の喪失の三大原因は 虫歯・歯周病・歯の破損

歯はなぜなくなるの?(歯の喪失原因)

1990年歯がなくなる原因は20歳以下は齲蝕(虫歯)

40歳以降は歯槽膿漏と呼ばれる歯周病でした。

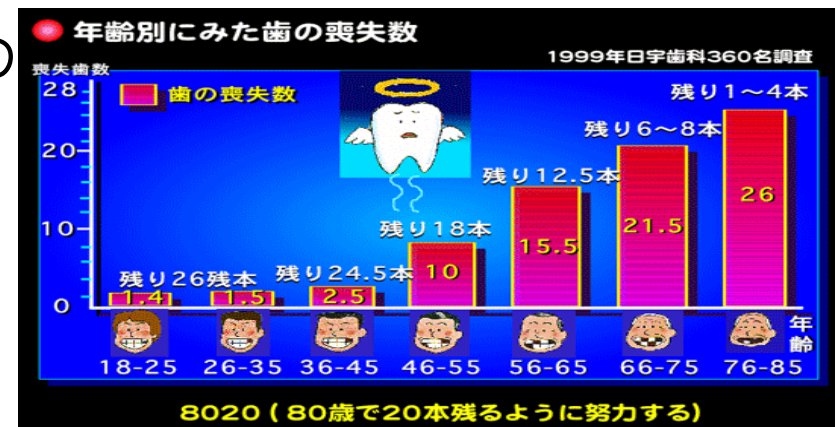
2005年の調査では、齲蝕や歯周病で歯をなくす人は少なくなってきました。その訳は、齲蝕は放置することで進行して歯が無くなりますが、きちんと修復処置や歯内療法を行うようになったこと、歯周病は原因である歯垢や歯石を定期的に取り除くためです。



しかし、食べ物を食べるだけの歯の数が多くなり、
ついつい硬固物(豆類・タネ類・アメ・氷・乾燥植物など)を
好んで食べる人が増え、その分、歯の破損は多くなりました。

80歳で20本の歯があれば、
食事の咀嚼、発音、嚥下もある程度
困らないとされています。日本歯科医師会では国民に
対し8020と称した運動を続けています。

しかし、抜けた部分により咬める場合と
咬めない場合があります。もちろん、28本あった方が
より噛む力(咀嚼・踏ん張る力)や
嚥下・発音・発語に有利です。



この調査は口腔に異常がある人たちが
歯科医院に来院した時点のデータですので
一般的にはもう少し歯は残っていると思います。

歯の喪失の第一原因は口の中の細菌



このように無数の細菌が歯垢や歯石の中に潜み、
少しずつ虫歯や歯周病を引き起こしていきます。
歯ブラシで物理的にこれらの細菌を
取り除くことが必要です。

**歯科定期検診は予防も兼ねていますので
治療するのと同じようにとても大事なことです。**

歯が20本以上、残っていると
他の疾患の医療費も安い。

兵庫県歯科医師会が33,000人の
70歳以上の人を調査した結果では、
1人頭、医療費は70歳で
20本の歯が残っている人は17,000円、
20本以下では22,000円と25%低いこと、
また癌、気管支など呼吸系や循環器系の疾患が
極度に低いことが解っています。

「gooランキング」の中から 「歯科医院に行くと苦手だと思ってしまうことランキング」 を調べてみました。

10位 費用の高い治療を営業されること

経営面のみならず、技術の進歩から治療の選択肢が増え、保険を使用しない治療を紹介する機会が増えているといった面もあり。

9位 診療室から聞こえてくる子供の泣き声

次は自分が…といった緊張と恐怖や、子供のころの苦い経験などが思い出されてしまうのでしょうか？

8位 麻酔注射のあと、口がうまく開かない・閉じられない

麻酔をした後は、しばらくの間感覚が麻痺します。
その間は、熱も感じないため、食事の際には口の中をやけどしないように注意しましょう。

7位 室内のにおい

最近では以前のような強いにおいもあまりありませんが、主に消毒液のにおいだったりします。治療で使っている薬のにおいも結構します。診療を清潔に行うには必要ですね。

6位 バキューム(つば取り機)

バキュームを使うと口の中が乾いてしまうので苦手な人はかなりいますが虫歯の穴を埋めるには、水は厳禁!!なのです。

5位 大きく口を開けなければいけないこと

確かに…(笑)口を開けなければ、治療は出来ませんね。
100%口を大きく開けなくても80%程度の方が
治療しやすいこともあります。一度お試しあれ。

4位 料金がわかりづらいこと

健康保険ではたとえば虫歯の形や使う材料によって、
料金が細かく分類されます。治療中の少しの違いが、同じような
虫歯の治療料金の変化となるので、心配な場合は初めに
受付に料金を尋ねてみては？

3位 待ち時間

その病院が普段から予約に正確であれば、トラブルさえなければ、
比較的正確な予約を期待できます。しかし、予約時間に遅れがちな病院は、
毎回のように遅れる可能性があります。

2位 何度も通わされること

歯の治療って家を作るのに似ています。全壊していれば土台から作り直しです。
良い家は1日ではできませんね。何度も手間をかけて作れば、
それだけ良い歯ができる可能性が高まるのです。

1位 診療室から聞こえてくる機械音

なんと1位が音!!おそらく「キューーン!」という歯を削る道具のことですね。
歯は非常に硬いため、歯を削る道具は先端が毎分20万～40万回転が必要です。
この回転を作るのに空気を小さなファンに強くぶつけています。
あまりにも、高速回転で回るため「キューーン」と音が鳴るのです。
しかし、最近ではモーター式の音の静かなタイプも使われています。

ランキングで共感できるのが、あったのではないのでしょうか？

意外だったのは20位以内に「治療の際の痛み」が

入っていなかったことです。

もはや、治療は痛くないのが普通になりつつあるのでしょうか？

また、1位～10位のうち、6項目が治療に関するものでした。

実際、当院の初診患者様の中でも「歯医者とは〇年ぶり」

「すごく怖がりです。」「歯を削る音が嫌です。」

「麻酔が嫌です。」という声を非常にたくさん聞きます。

皆様が昔の歯科での恐怖体験、痛かったことが

トラウマになる＝痛くなる・腫れる・穴が開くまで我慢する・・・ようです。

ようです。しかし、最近の歯科は痛くないよう、怖くないよう、

削らないよう、抜かないように治療する(予防する)歯科が増えています。

そのせいか、最近の子供さんは歯科は怖くない！

頑張ったら褒めてくれて、ごほうびをもらえる!!と昔より歯科への抵抗感が

減っているように感じます。

自身の過去の苦い経験をふまえて、子供には

同じ目には遭わせたくないと思われる保護者の方が増えています。

入れ歯でも定期検診は重要です。

- ・ 残っている歯をこれ以上減らさない。
- ・ バネの緩みなどの調整
- ・ 部分義歯でも総義歯でも粘膜の炎症などの有無チェック

予後不良の歯も定期検診は重要です。

- ・ 疲れると腫れる
- ・ いつもと同じところが違和感が出る
- ・ 根元辺りに違和感がある

定期的に清掃・消毒することで、
完治は無理でも小康状態を維持できます。

歯磨きの上手な人・苦手な人・虫歯の少ない人・多い人
歯周病の軽い人・重い人・部分入れ歯の人・総入れ歯の人
よく腫れる人・親知らずのある人・・・

全ての方にとって定期検診は重要です。

定期検診は様子を見るための1ヶ月。

落ち着いたからの2ヶ月。

一般的には3ヶ月。

と個人のお口の中の状態でさまざまなパターンがあります。

痛くなる前に、削らない為に、

麻酔しない為に、回数がかからない為に・・・

定期検診にお越しください。

